

※改行は「Alt+Enter」で行ってください。

必ずチェックしてください。「有」の場合は支援をお断りしています。

必ずチェックしてください。「有」の場合は支援をお断りしています。

必ずチェックしてください。「有」の場合は支援をお断りしています。

必ずチェックしてください。「有」の場合は支援をお断りしています。

1. 申請者				
1-1. 名称	①団体種別（法人格等）	特定非営利活動法人	団体種別、団体名称は、定款、法人登記簿と一致するようにしてください。	
	②ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇		
	③団体名称	〇〇〇〇〇〇〇〇	法人番号とは、国税庁が指定する番号です。法人番号は法人格を有する団体に対し1つの番号が指定されます。法人番号の詳細は以下のホームページをご参照ください。（法人番号を調べることができます。） 国税庁 法人番号公表サイト http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/	
	④法人番号（付与されている場合は13桁を記入）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
1-2. 団体所在地	①郵便番号	〇〇〇-〇〇〇〇		採択一覧を公開した際に、このメールアドレス宛にお知らせさせていただきますので、必ず正確にご記入ください。
	②都道府県名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
	③ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
	④市区町村丁目番地	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
	⑤ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
	⑥建物（マンション名、部屋番号）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
	⑦電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
	⑧FAX番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
	⑨URL	http://〇〇〇〇〇		
	⑩E-Mail	〇〇〇〇@〇〇〇〇		
1-3. 代表者	①役職名	代表	定款、法人登記簿等における代表者の役職名とし、特に定められていない場合は「代表」としてください。	
	②ふりがな	〇〇〇〇〇		
	③代表者氏名	〇〇〇〇〇		
	④生年月日（西暦）	19〇〇年〇〇月〇〇日	団体住所でなく代表者のご自宅を記入してください。	
	⑤代表者住所	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
	⑥電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
	⑦職業、勤務先（応募団体以外）	株式会社〇〇 〇〇事業部所属	代表者の主な略歴を時系列で記入してください。	
	⑧略歴（主な職歴・福祉活動歴や他に代表を務める団体等）	19〇〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇就任 19〇〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇就任〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇退任 20〇〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇就任（現在まで） 20〇〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇就任（現在まで）		
1-4. 担当者連絡先	①ふりがな	〇〇〇〇	審査時に連絡することがありますので、申請内容を把握している方の氏名と電話番号を記入してください。	
	②氏名	〇〇〇〇		
	③電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	☒ 勤務先 ☐ 自宅 ☐ その他	
	④連絡可能時間等	〇:〇〇 ～ 〇:〇〇（月～木曜日）	日中のつながりやすい時間帯にしてください。	

2. 事業計画

2-1.
事業名(30文字以内)

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇事業

事業

2-2.
追加的に行う事業の概要(300文字以内)

〇〇〇な状況にある親子を〇〇により支えることを目的に、〇〇や〇〇、□□を実施する。

本事業で対応する課題について、支援対象者の状況を踏まえて記載するとともに、どのような事業に取り組むか、事業の全体像を分かりやすく記入してください。

2-3.
事業分野(複数選択不可)

※下記ア～オのいずれかに近い分野がある場合は、最も近いいずれか1つを選択。下記ア～オに全く当てはまらない場合に力を選択。

〇 ア 様々な学びを支援する事業

〇 イ 居場所の提供・相談支援を行う事業

〇 ウ 衣食住など生活の支援を行う事業

〇 エ 児童又はその保護者の就労を支援する事業

〇 オ 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業

〇 カ その他、貧困の連鎖の解消につながる事業

複数選択はできません。最も当てはまるものを一つだけ選んでください。事業が複数項目にわたる場合は、主となる事業を選択してください。全く当てはまるものがない場合は、「カ その他、貧困の連鎖の解消につながる事業」を選んでください。

2-4.
新型コロナウイルス感染症予防に係る衛生対策について

※新型コロナウイルス感染症予防に係る衛生対策について、その内容を記載してください。

2-5.
衛生管理体制(食事提供を実施する場合のみ回答)

衛生管理体制について留意している事項を選択してください。(複数選択可)

衛生管理に関するマニュアルを整備

調理器具・食器類の消毒

衛生管理に関する研修に参加

手指の洗浄・消毒

衛生管理責任者を配置

マスクの着用

複数選択可能です。
「既存事業の充実」を選択する場合は、どのような充実を図る事業であるのか要望書全体から確認できるように記入してください。

2-6.
事業の位置づけ(複数選択可)

従前事業からの切替え

※従来事業と異なる手法・内容の事業を行う場合

既存事業の拡充

※従来事業と同じ手法・内容で事業の拡充強化を図る場合

2-7.
事業実施の必要性

新型コロナウイルス感染症の影響(事業に起きた変化や課題)及び今回追加的事业を行う必要性について各300文字以内で具体的に記入してください。

(感染症の影響)

例:緊急事態宣言が発令されたのち、対面での接触や集うことができなくなり、孤立している家庭が増加している。相談を受け付けているホットラインには、「収入が下がって困っている」、「子供と一日中家で過ごしているが、精神的にしんどい」等の相談が寄せられている。

(追加的事业を行う必要性)

例:食事を十分にとれていない家庭の情報が寄せられており、食堂の運営とは別に、定期的な家庭訪問を行い、食材を届けたり、生活相談に応じることが急務。

【従前事業からの切替え】
例:従前の事業内容から切り替えて実施するもの
・集合型学習支援活動の一環として(従前実施していなかった)オンライン学習を開始
・子供食堂活動の一環として(従前実施していなかった)弁当配布を開始、等
(従前の事業は、続けていても、いなくてもどちらでも可)

【既存事業の拡充】
例:既存事業を拡充して実施するものが該当
・学習支援教室や子供食堂等の分散開催、
・フードバンクの配布先や受け入れ食品増加への対応(人手や倉庫を増やす等)

2-8.
数値目標

※事業の柱ごとに開催頻度や支援の対象者数などの本事業の数値目標を250文字以内で設定してください。

【例】
柱1 学習支援回数 週2回 2か所 一回当たり20人
柱2 オンライン子供食堂 週1回 3か所 一回あたり10人
柱3 フードパントリー 月2回 のべ100家庭、ボランティアの確保10人

【追加的事业を行う必要性】
○支援の対象者の属性の例:子供(小学生、中学生、高校生、学校中退者)／母親・父親／支援相談員／スタッフ／協力者など

○実人数とは、一人が数回参加しても1カウントとした際の合計人数です。

○延べ人数の算出根拠の例:
属性: 既存の子供食堂利用家庭を対象
30世帯 × 月8回 × 10か月 × 1地域 =延べ2,400人

2-9.
追加的事业による支援対象者数

※申請した事業により想定される支援対象者の数(実数又は、延べ人数を記載)を、子供や保護者などの属性を明記し、記載してください。(数値目標と同じになっても構いません。)なお、延べ人数の場合は、隣に「算定根拠」を記載してください。

支援の対象者の属性

実人数(計)

延べ人数(計)

延べ人数の算定根拠

3

2-10.
追加的事業の
内容

※事業の具体的内容を下記の項目を参考に記入してください。複数の柱立てにより事業を実施する場合は、柱立て毎に記入してください。なお、枠内に収まるように記入してください。

【項目例】
1. ○○の開催（【従前事業からの切替え】 / 【既存事業の拡充】 いずれかを記載）
(1) 時期
(2) 場所
(3) 対象者層・人数
(4) 内容(※事業内容を記載する際には、新型コロナウイルス感染症に係る取組の工夫についても記載をお願いします。)

事業の具体的内容を下記の記入例を参考に記入ください。
なお、内容ごとに記載していただく等分かりやすく記入してください。
（【従前事業からの切替え】 / 【既存事業の拡充】 いずれかを記載）

記入例：
1. ●●の開催(学習支援、訪問活動、配食・移動支援、相談・傾聴、オンライン講座、シェルター運営、報告書の作成など)
(1) 時期: 2020年●月～●月 各月●回計●回
(2) 場所: ●●市2拠点、●●市1拠点
(3) 対象者層・人数: ●●(●●名)
(4) 内容: どのように行うのか(※事業内容を記載する際には、新型コロナウイルス感染症に係る取組の工夫についても記載をお願いします。)

2. ●●の実施(学習支援、訪問活動、配食・移動支援、相談・傾聴、オンライン講座、シェルター運営、報告書の作成など)
(1) 時期: 2020年●月～●月 各月●回計●回
(2) 場所: ●●市2拠点、●●市1拠点
(3) 対象者層・人数: ●●(●●名)
(4) 内容: どのように行うのか(※事業内容を記載する際には、新型コロナウイルス感染症に係る取組の工夫についても記載をお願いします。)

＜注意点＞
※複数の柱立てがある場合は、それぞれの事業が【従前事業からの切替え】又は【既存事業の拡充】のどちらに当たるのかが分かるように記載してください。また、【既存事業の拡充】の場合はどの部分が拡充なのかも含めてご記載ください。

※各々の柱立ての事業が「従前事業からの切替え」又は「既存事業の拡充」のどちらに当たるか記載してください。また、「既存事業の拡充」の場合については、どの部分が拡充なのか以下にご記載ください。

従前事業からの切替え	柱● 柱●	既存事業の拡充	柱● 柱●
------------	----------	---------	----------

(既存事業の拡充)※拡充となる内容を記載してください。

実施スケジュール

年 月	実 施 内 容

【実施スケジュール】
事業を進めるにあたり、現在、想定している計画を、1か月～3か月毎に、おおまかに記載してください。

例) 8月～9月 家庭訪問による食材配達
電話とオンラインによる個別相談
地域団体との情報交換会①
10月～12月 家庭訪問による食材配達
地域団体との情報交換会②

支援金額調書

①追加的事業を実施するための経費

科目		金額（円）	内訳（具体的内容及び単価×数量を記入してください）
謝金		000,000	オンライン研修講師謝金〇〇〇〇円×〇回＝〇〇〇〇円、 メンタルヘルス専門員謝金〇〇〇〇円×〇回＝〇〇〇〇円
旅費		000,000	交通費〇〇〇〇円×〇回＝〇〇〇〇円、 ガソリン代〇〇〇〇円×〇回＝〇〇〇〇円
所費合計		0	
所費	賃金	000,000	コーディネーター時給〇〇〇〇円 × 〇〇人 × 〇日 × 〇ヶ月＝〇〇
	家賃	000,000	シェルター家賃〇円×〇ヶ月＝〇〇〇円
	光熱水費	000,000	水道代〇円×〇ヶ月＝〇〇〇円、電気代〇円×〇ヶ月＝〇〇〇円、ガス代〇円×〇ヶ月＝〇〇〇円
	備品購入費	000,000	棚の購入〇〇〇円
	消耗品費	000,000	マスク等感染症予防用品購入費〇〇〇〇円×〇ヶ月＝〇〇〇〇円 食材費〇〇〇円×〇ヶ月＝〇〇〇〇円
	借料損料	000,000	コインパーキング代〇〇〇〇円×〇ヶ月＝〇〇〇〇円 タブレットリース料〇〇〇〇円×〇回＝〇〇〇〇円
	印刷製本費	000,000	研修テキスト〇〇円×〇〇回＝〇〇〇〇円
	通信運搬費	000,000	wi-fi通信料〇〇円×〇〇月＝〇〇〇〇円 報告書発送代〇〇円×〇〇回＝〇〇〇〇円
	委託費	000,000	WEB制作費〇〇〇〇円
	雑役務費	000,000	振込手数料〇円×〇円＝〇〇〇〇円
保険料	000,000	ボランティア保険〇〇〇〇円×〇ヶ月＝〇〇〇〇円	
上記以外の対象経費		000,000	
A 上記支援費目の計		000,000	
B 対象外経費			※ 具体的内容及び単価×数量を記入してください
C 総事業費（A+B）		000,000	

上記に当てはまらない費用がある場合、
具体的内容及び単価×数量を記入して

「A」と「B」の経費が重複することはありませんので、ご注意ください。

募集要領の別紙（支援対象経費の例）
をよく読みいただき、支援の対象とな
らない経費がある場合はこちらに記入し
てください。

②追加的事業にかかる収入

種類	金額（円）	内訳（具体的内容及び単価×数量を記入してください）
参加費収入	000,000	オンライン研修参加費収入（参加費収入（@〇〇円×〇〇人×〇〇回）
寄付金・協賛金収入	000,000	地元企業からの協賛金
国や民間からの助成金	000,000	〇〇財団
一般会計繰入金	000,000	
D 収入合計	000,000	

この事業に限定された使途指定のある
寄付・協賛金等の場合、こちらに入力し

自己資本その他団体に寄せられた一般
的な寄付等から繰り入れる場合、こちら

③支援金額の算定

C総事業費－D収入合計

=

0,000,000

円

千円未満切
捨て

0,000

千円